

【高等学校用】

令和4年度学校評価 計画

学校名		佐賀県立唐津西高等学校	
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「双松の力」(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力)の育成に向け全職員で組織的協働的に取り組んだ。 ・地域の人的・物的資源を活用し、保護者や地域の力を学校教育活動全体に積極的に生かしながら教育活動を推進した。 ・続くコロナ禍により教育活動が制限されたが、最大限の効果が得られるよう、内容の精選、ICTの活用など様々な工夫を行った。 ・学校教育目標「地域社会の未来を担う志のある人材の育成」に基づき、来るべきSociety5.0の社会を逞しく生き抜き、持続可能な社会の担い手として、ふるさと佐賀を誇り思い、国際社会や我が国、そして何よりも地域社会に貢献できる志のある人材の育成に向け、スクールポリシーを見直し、新たに整理・策定した。 		
2 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の未来を担う志のある人材の育成 ー地域課題を自ら見出し、人とのつながりを大切にしながら、解決に向けて行動することができる力の育成を図るー 		
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に信頼され、選ばれる学校づくり(コミュニティ・スクールを活用した魅力と活力ある高校づくり) ・「自ら問いを立てる」力の育成と多様な進路先の実現 ・地元唐津をフィールドとした特別活動・生徒会活動・ボランティア活動等の充実 		
4 重点取組内容・成果指標			
(1)共通評価項目			
	重点取組		具体的取組
●学力の向上	取組内容 ○教師の指導力の向上。 ○生徒の理解度の向上。 ○進学意識の向上 ○多様な進路選択の支援と大学進学実績の向上	成果指標(数値目標) ○生徒による授業評価の満足度80% ○ICTを活用し動画配信及びオンライン授業に取り組んでいる教員の割合90% ○大学進学希望者の割合70% ○国公立大学 合格者 30名 私立大学 合格者100名 公務員 合格者 4名	・各教科年2回以上の授業見学会を実施する。 ・学期に1回以上の学習状況調査を実施する。 ・ICT研修(Classi、オンライン等)を実施する。 ・授業評価結果を踏まえた授業改善に取り組む。 ・学年、教科、分掌と連携し、時機に応じた情報提供、集団指導、個別指導、講演会等を企画し、実施する。 ・全教員による総合型入試・学校推薦型入試指導を行う。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ◎夢や進路希望の実現に向けて努力する教育活動の推進	●情報モラルに関する意識及び知識を持っている生徒80% ○「いじめ防止及び対応等について」満足している生徒の割合95% ◎「唐津検定」合格者70% ◎ルーブリック評価における「地域力」の生徒の自己評価の平均値3.0 ◎キャリアパスポートの活用率100%	・情報モラル・人権に関する講演会やLHRを実施する。 ・振興会と協働し明るく気持ちのよい挨拶を推進する。 ・ハナコフェア(人命救助に尽くした先輩に関する取組)の充実を図る。 ・多面的に生徒の状況を把握・理解し、組織として支援する。 ・欠席が10日を超えた生徒にはケース会議を行う。 ・情報共有シートの有効的な活用を図る。 ・唐津検定受検を奨励する。 ・ふるさと佐賀を誇りに思う教育講演会を開催する。 ・総合的な探究の時間、特別活動を中核とした教育課程を編成する。 ・ルーブリック評価及びキャリアパスポートを定期的に活用し、的確な振り返りを行わせる。
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」(感染症の予防と対応) ○各科健康診断後の受診率向上 ○部活動の活性化	●感染症予防対策実施率100%(マスクの着用、うがい・手洗い・手指消毒) ○歯科の再受診率30%、その他は60% ○部活動をおとして主体性が身についたと思う生徒の割合70%	・集会等での呼びかけや教室・廊下のポスター掲示・保健だより等により意識の向上を図る。 ・学期毎1回以上の生活習慣アンケートを実施する。 ・学校医との連携を密にして受診勧告及び啓蒙を行う。 ・全体で部活動の取組を共有するとともにリーダー研修会を開催する。 ・生徒主体の練習計画や振り返りを実践する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。 ○年間年次休職取得平均12日以上(昨年比20%増)、5日未満の教職員0名	・定時退勤日、学校閉庁日、年休取得推進日、部活動休養日を設定し確実に履行する。 ・業務の見直しや効率化により時間外勤務の縮減を図る。 ・働き方に対する価値観の転換を図る。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
	重点取組		具体的取組
○SAGAコラボレーション・スクールを活用した魅力と活力ある学校づくり	★地域社会に貢献し、地域に信頼され、選ばれる学校づくり	★学校魅力強化委員会を年3回実施 ★地域関係者によるキャリア教育講演を年3回実施	・部活動(ボランティア・写真・家庭研究)単位での活動を中核として総合的な探究の時間を展開する。 ・地域をフィールドとした活動・イベントを設定する。 ・地域の人材を活用したキャリア教育を行う。
○図書館の利用と読書活動の推進	○図書館の利用と読書活動の推進	○図書貸し出し総数 年間2,000冊	・朝読書の効用を適宜発信する。 ・図書館資料を積極的に更新するとともに図書館便り・新着図書案内等を毎月発行する。
○特別活動・生徒会活動・ボランティア活動	○生徒会活動・ボランティア活動の充実 ★ボランティアを核とした学校づくり	○自主性が重んじられていると感じる生徒の割合90% ★ボランティアに対する意識を持つ生徒の割合50%	・各種学校行事等の司会進行、双松祭の企画運営を生徒主体で行う。 ・ボランティア部を中心とし学校全体でボランティアに取り組む体制と制度を構築する。
○地域に信頼される学校づくり	○開かれた学校づくり	○学校HPへの更新100回 ○学校行事へのアクセス数240件 ○学校開放日における保護者の授業参観者数50名 ○重点目標を知っている保護者の割合60%	・HP、メール配信、SNSの活用による学校の情報発信を行う。 ・中学校訪問及び中学生の学校見学会の充実。 ・学校開放日の取組内容の工夫を図るとともに開催についての周知を徹底する。 ・地域の活動に積極的に参加する。
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり			
5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・		